

## P-2-353

### エーエヌ・テック社製洗浄剤プレミアムマックス、クリーン CL の使用経験

小倉 尚之、安田 栄吉、高田 博弥、武内 崇、松井 博志、山田 将寛、田尻 伸弘、辻 義弘、鈴木 尚紀、  
吉岡 健太郎、人見 泰正

(特医) 桃仁会病院臨床工学部

【目的】エーエヌ・テック社製洗浄剤プレミアムマックスの蛋白除去効果と、クリーン CL の防錆効果について評価したので報告する。

【方法】透析液配管系の洗浄方法を、次亜塩素酸ナトリウム + エバクリーン 500 から次亜塩素酸ナトリウム + プレミアムマックスへと変更し、サンフリー L からクリーン CL へと変更した。評価項目は、(1) 透析液排液ラインの蛋白付着状態を、変更前と変更後 6 か月、9 か月における同一部位での肉眼的観察及び IR 分析、(2) カスケードポンプ、複式ポンプ内表面の錆腐食状態を、変更前と変更後 9 ヶ月での肉眼的観察及び ICP 分析、(3) 透析配管末端の ET 値及び生菌数を測定、(4) コスト面、とした。

【結果】(1)、(2) 現在評価中、(3) 変更後 4 か月経過現在での ET 値、生菌数は共に検出感度以下で保たれている。(4) コスト面は以前より削減できた。

【結論】現在評価中であるため、学会中に報告したい。

